

青雲台の歩み Ⅱ 昭和52年度以降Ⅱ (年表)

(注) 文中末尾の数字は青雲時報の収録号数を表す

月	事	項
4	昭和五十二(一九七七)年度 新年度より市職員による宿直制度が全廃され、夜間は民間会社委託の機械警備となる。それに対応し、部活・下校指導を教員の当番制で行う ⁽¹⁰¹⁾ PTA総会、四十周年協賛会に新校舎建設委員会を設置 観劇会、前進座「今昔物語」(市民会館) ⁽¹⁰¹⁾ 学校横道路の舗装反対を市教委に申し入れた旨校長報告 高体連弓道全道大会当番校 軟式野球部々室完成	日本・世界
8	第二十八回青雲祭、初めてテーマ設定「青春、力の限り」。行燈行列は雨のため順延実施 ⁽¹⁰¹⁾ 有珠山噴火救援募金の呼びかけ、十一万円余集まる 生徒会役員選挙、立候補者中会長のみ不信任となり、後の補充選挙で新会長に弓本貴久(二年) ⁽¹⁰²⁾ 、 ⁽¹⁰³⁾	赤軍の日航機ハイジャック 王選手本塁打世界記録
10	「ひんがし会館」落成式(起工は六月) ⁽¹⁰¹⁾ 、 ⁽¹⁰²⁾	外貨準備高史上最高
11	山本立子(二年)、全国読書感想文コンクール道予選で「道議会議長賞」受賞 リコーダー同好会、全道器楽コンクール(高校の部)で「ホワイトリボン賞」 校旗新調、納入披露される(六十万円) ⁽¹⁰³⁾ 美術部の風あげ(第一グラウンド)を民放テレビ局取材 第二十八回卒業式、卒業アルバムに付録に校歌・応援歌のレコード 井上幸夫校長、新設の北海道石狩高等学校校長として転出 ⁽¹⁰³⁾	サダト、イスラエル訪問
4	昭和五十三(一九七八)年度 北海道浦河高等学校校長高澤博先生、本校校長(七代目)に着任 ⁽¹⁰⁴⁾	国内初の女性フルマラソン
5	新校舎基本設計図(市作成)できる ⁽¹⁰³⁾ 野原博氏(旺文社)による三年生対象の講演会 ⁽¹⁰⁴⁾	成田空港開港

月	事	項
6	高体連地区大会で女子バスケット部優勝(六年連続) ⁽¹⁰⁴⁾ 演劇部校内春季公演「オズの魔法使い」 ⁽¹⁰⁴⁾ 夏の高校野球Aブロック決勝戦で函工に快勝、十四年ぶり六回目の全道大会へ ⁽¹⁰⁴⁾	日中平和友好条約 大平内閣 米中国交正常化
9	生徒会役員選挙、新生徒会長に松田治人(二年) ⁽¹⁰⁵⁾ 校舎改築第一期工事着工 ⁽¹⁰⁶⁾ 全道高校新聞コンクールで「青雲時報」企画取材賞 ⁽¹⁰⁵⁾ 初の国立大学共通一次試験 ⁽¹⁰⁷⁾ 安全運転規程を改正、生徒のバイク通学禁止(四月より)を決定	スリーマイル原発事故
3	第二十九回卒業式、三年生の卒業記念品として大応援団旗作製 ⁽¹⁰⁶⁾ 社会科地理巡検十周年記念特集『函館とその近郊』発行 新校舎建設に伴い、食堂の営業終了(四十三年以来十年間) ⁽¹⁰⁷⁾ 新校舎第一期分管理部門・特別教室(その一)完成 ⁽¹⁰⁵⁾	
4	昭和五十四(一九七九)年度 「新入生のしおり」発行	
5	一・二年生の夏季・冬季講習を実施することに決定	英サッチャー首相
6	生徒の夏の服装について指導基準を確認、父兄宛プリントを配布	東京サミット
7	臨時生徒総会、生徒会費値上げ(三五〇円→五〇〇円)を可決	
8	校舎改築第二期工事着工 吹奏楽部、柏野小学校「母と子の音楽教室」に出演 第三十回青雲祭、特別企画としてNHKFMリクエストアワー公開放送(第一グラウンド)、河村通夫コンサート(青雲記念館)。また、来校した西ドイツの少女姉妹を開校式で紹介 ⁽¹⁰⁸⁾	米軍、沖縄で大演習
9	生徒会役員選挙、新生徒会長に山村智嘉(二年) ⁽¹⁰⁸⁾ 東高校一回生同期会、校舎見学 「ひんがし」特集「自由について」取材インタビューのため、編集委員が北高を訪問	
12		

3	新校舎第二期分Ⅱ管理部門・特別教室（その二）完成	ソ連、アフガニスタン介入
昭和五十五（一九八〇）年度		
4	音楽の授業をこの日より新校舎で実施 ⁽¹¹⁰⁾	電気・ガス大幅値上げ
5	本校生の防火ポスターを丸井、みちのく銀行、北洋相互銀行で展示 生徒の髪型・服装に関する指導で、特にパーマとリーゼントは全面禁止を確認、父母宛プリントを配布。LHR、規律委員会を通して指導を徹底 ⁽¹¹⁰⁾ 、 ⁽¹¹¹⁾	韓国光州事件
6	観劇会、こんにやく座「べっかんこ鬼」（市民会館） ⁽¹¹⁰⁾	衆参同時選挙 モスクワオリ ンピック 鈴木内閣
7	校舎改築第三期工事着工	
8	第三十一回青雲祭、悪天候のため行燈行列を順延実施	
9	北海道新聞朝刊（全道版）に「学校祭打ち上げ脱線―函館東高校」の見出しで、三年生のカラオケパーティーの報道記事が出る。臨時職員会議で学校長、クラス担任より事情説明。該当生徒に対する指導案を決め、今後の学校祭のあり方について討論	イラン・イラク戦争 長嶋監督辞任 王選手引退
2	全校集会・特設LHRを実施。生徒に対し生活面における自覚と反省を促す。生徒会主催で三年生の生徒集会が行われる	
3	今年度の校内マラソン、合唱祭の中止を決定 ⁽¹¹¹⁾ 、 ⁽¹¹³⁾	
2	生徒会役員選挙、新生徒会長に小池田鋭（二年） ⁽¹¹¹⁾	米レガン大統領 ポルトピア81
3	新校舎第三期分Ⅱ管理部門・特別教室（その三）完成 ⁽¹¹²⁾	
3	新年度より授業料（三、二〇〇円↓四、八〇〇円）値上げ	
昭和五十六（一九八一）年度		
4	第一回実力・模擬試験（初めて四月実施） ⁽¹¹³⁾	仏ミッテラン 大統領
5	観劇会、東京演劇アンサンブル「グスコブドリの伝記」 ⁽¹¹³⁾	
6	旧校舎（理科棟）解体作業開始 ⁽¹¹⁵⁾	
7	特設全校集会とLHR（青雲祭に関する事前指導）	
7	校舎改築第四期工事着工	

8	第三十二回青雲祭、前夜祭のフオークダンス中止、講演は福西浩氏「オーロラと南極観測」（新館視聴覚教室） ⁽¹¹³⁾	広島原爆の日 にダイ・イン
9	生徒会役員選挙、新生徒会長に田中勉（二年） ⁽¹¹⁴⁾	
10	第一回校内陸上競技大会 ⁽¹¹³⁾ 、 ⁽¹¹⁴⁾	
11	全道高校書道展研究大会当番校 バイク・自動車の免許取得禁止を決定（新年度より）	福井謙一ノ ベル化学賞 ホテルニュー ジャパン火災
2	新年度から新校舎のゴミ処理はビニール袋方式とする 理科数科初めて推薦入試面接 ⁽¹¹⁵⁾	
3	旧図書館より新図書館へ蔵書等の引越作業 ⁽¹¹⁵⁾	福岡発日航機 羽田沖で墜落
3	新校舎第四期分Ⅱ生徒昇降口・大職員室・図書館・普通教室（十八）完成 ⁽¹¹⁵⁾	全国の中学、高 校で校内暴力
3	研修館工事着工 ⁽¹¹⁶⁾	
3	新年度より授業料値上げ（四、八〇〇円↓五、六〇〇円）	
昭和五十七（一九八二）年度		
4	新教育課程実施。社会科に現代社会、理科に理科Ⅰ・Ⅱが新設されたほか、数学も六科目に細分される。また国語も国語表現・現代文・古典をふくめ五科目に ⁽¹¹⁵⁾	五〇〇円硬貨 世界各地で反 核運動
5	新校舎になったのを機会に、各クラブ優勝カップ・賞状を生徒玄関ホールと職員室前に展示	
5	一年生に初の心電図検査 ⁽¹¹⁶⁾	
6	高体連全道壮行式、この日に合わせて東高一回生による大太鼓の贈呈式（「青雲の志」の文字を記し生徒玄関ホールにおく） ⁽¹¹⁶⁾	東北新幹線 教科書検定で 「進出」書き換 え問題
6	男子バレー部、全道大会決勝で東海大四高に惜敗し準優勝。八月の全国大会（鹿児島）へ（五十八年二月の選抜大会全道でも準優勝）	
7	校舎改築第五期工事着工	
7	研修館完成、北高校運動部を招待し落成式 ⁽¹¹⁶⁾	西日本に豪雨
8	第三十三回青雲祭、特別企画として日本伝統芸能を守る会（春風亭柳橋、林家正楽ほか）による「青雲寄席」。また新聞局・社会活動部は「原爆資料展」で映画上映。青雲コンサートは以後青雲記念館で実施 ⁽¹¹⁷⁾	
9	函館市総合防災訓練会場となり、生徒も参加 ⁽¹¹⁷⁾	中曽根内閣
9	生徒会役員選挙、当初の立候補締め切り日までに立候補者がなく、公	

12	11	10	9	8	6	5	4	3	2	1	12
東高校十八回生故高林恵美子さんの遺族より図書「高林文庫」とする) (120)	演劇部、全道大会(土別)に出演。「海鳴りが聞こえない」で第四位(優良校)入賞 (120)	全道理科教育研究大会当番校 新生徒会長に福嶋正幸(二年) (120)	校舎改築第六期工事着工 (120)	旧体育館の解体工事開始	高体連バドミントン全道大会当番校 二年ぶりの観劇会、東京芸術座「勲章の川」 (119)	放送局、NHK杯高校放送コンテスト地区大会で総合第一位(以後連続九年間第一位入賞)	北海道釧路星園高等学校長及川哲哉先生、本校校長(八代目)に着任 (119)	体育館を除く旧校舎すべての解体作業始まる。全職員、生徒はその光景を眺めながら感無量の思い。美術部は第一グラウンドで名残りを惜しむ凧あげ。教務日誌は「校舎解体完了、瓦礫の山と化す」と記す 第三十三回卒業式、旧体育館最後の卒業式となる 高澤博校長、北海道札幌手稲高等学校長として転出	新校舎第五期分普通教室(十二)・食堂完成 新聞局OBの旧校舎局室訪問 (118)	佐藤み雪(三年)、全国文芸コンクール短歌部門に入賞 新しい食堂で、生徒の利用開始。食堂前廊下に設置したジュース類自動販売機も使い始める	募期間を延長したが副会長、書記の二名が立候補、信任。その後補充選挙で全役員揃う。新生徒会長に高橋淳(二年) (117)
		田中元首相に 実刑判決	暗殺	暗殺	暗殺	日本海中部地震	東京デイズニ ーランド	空母エンター プライズ寄港		「日本不沈空 母化」の発言	

5	4	3	1	10	9	8	7	6	5	3	2
市二中〇会、体育館正面の校章贈呈式	一年生より新カリキュラム実施	帰りのSHRを新年度から導入することを決定 新年度より授業料を値上げ(五、六〇〇円↓六、二〇〇円)	再度百万円寄贈、それを元とした制度	全道高校図書委員会研究会当番校 「高林育英会」発足。(十月に東高十八回生高林恵美子さんの遺族より)	野球場南側の「ときわ通り」舗装化をめぐり、イチヨウ並木を伐採する計画もあったが、歩道にくみ込むことで現状のまま保存することに決定	北海道教育庁高等学校課長補佐室田浩志先生、本校校長(九代目)に着任 (122)	及川哲哉校長、二日午後九時三十分逝去。三日霊柩車を全校職員、生徒哀悼のうちに見送る。船見町実行寺の通夜(三日)、告別式(四日)にも生徒代表参列。十四日には新体育館で「故及川哲哉先生を偲ぶ会」を行う。また先生の遺言により、食堂前の二本のモミジを「青雲の樹」と命名し、中庭として整備することを決める	全道高校バレーボール大会(女子)の会場校	新テニスコート完成	新校舎第六期分II体育館・文化部室・運動部室完成 (121)	全道高校英語弁論大会(札幌)で、ESS高橋克恵(三年)優勝。副賞アメリカ旅行 (120)
				第二次中曽根内閣		臨時教育審議会			防衛費一%枠 の見直し		アフリカの飢 餓深刻 中曽根首相訪 中